

男鹿半島の潟西層におけるホタテガイ *Patinopecten yessoensis* の新産地*

渡 部 晟**

男鹿半島の潟西層の中に、釜谷地相とよばれる特殊な層相が発達することがある(潟西層団体研究グループ, 1983)。本相は、従来は独立した地層として取り扱われ、釜谷地層という名称が与えられていた。本相に含まれる軟体動物化石群については、藤岡・高安(1965), HUZIOKA *et al.* (1970), 渡部(1977)によってその内容が明らかにされているが、*Patinopecten yessoensis* は知られていなかった。しかし最近、本相から相次いで本種が採集された。

P. yessoensis の新産地は秋田県南秋田郡若美町の宮沢海岸(図1)であり、これまでに2個体得られている。2個体とも、HUZIOKA *et al.* (1970) の Fig. 3に示されたルートマップのjとkの中間地点の釜谷

地相から産した。この地点ではシルト岩からなる天徳寺層(大沢ほか, 1985)を、厚さ約30cmの暗青色含貝殻砂礫層(釜谷地相)が不整合におおい、更にその上位に橋本層(大沢ほか, 1985)の砂礫層が不整合に重なっている。釜谷地相中の軟体動物化石には著しく水磨されたものもある。しかし、今回得られた*P. yessoensis* は、2個体とも左殻片ではあるが、図2に示したように保存状態が良好で、ほとんど磨耗しておらず、下位層からの誘導化石である可能性はまずない。

男鹿半島の更新統には、下位から鮪川層・安田層・潟西層などがある。潟西層はその模式地の潟西地域において、下位から樽沢砂部層、角間崎泥部層およびそれと同時に異相の松木沢砂礫部層、本内砂部層の4部層

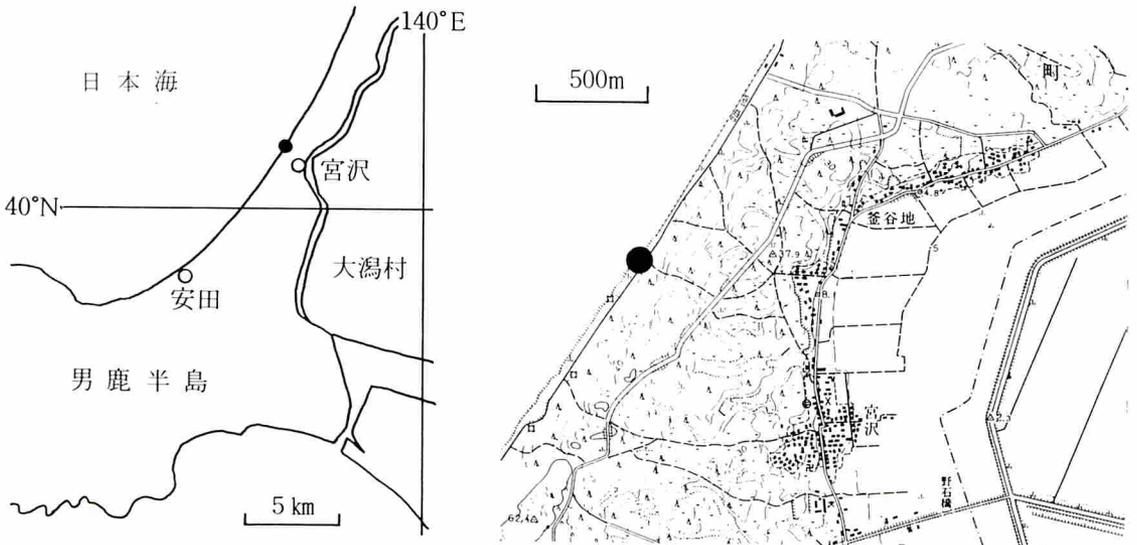


図1 *Patinopecten yessoensis* の新産地(●印)
国土地理院発行2万5千分の1地形図「大潟」を使用

* A new locality of *Patinopecten yessoensis* in the Katanishi Formation, Oga Peninsula, Akita Prefecture

** Akira WATANABE 旧職員, 現秋田市立泉中学校教諭



図2 潟西層（釜谷地相）産 *Patinopecten* (*Mizuhopecten*) *yessoensis* (JAY)

登録番号 a : APM 746-460 b : APM 746-461

産地 a・bとも秋田県南秋田郡若美町宮沢海岸

採集者 a : 石成亮平・石成康平 b : 渡部 晟

採集年月日 a : 1986年5月18日 b : 1987年8月23日

殻高 a : 98.2mm b : 85.5mm

からなり、釜谷地相は松木沢砂礫部層が下位層を不整合におおう地点のところどころで、本部層基底層が示す層相である（潟西層団体研究グループ、1983）。

これらの地層の中で *P. yessoensis* は、鮭川層中部から安田層基底層にまで豊富に含まれているが、安田層主部になると激減する（渡部、1982）。更に上位の潟西層でも、樽沢砂部層からわずかに産出している（潟西層団体研究グループ、1977）ほか、本部層に対比される可能性の大きい安田付近の潟西層基底層とその数m上位に少量含まれている（渡部、1975; 1976）だけである。また完新統からは産出の記録がない。従って今回釜谷地相から得られた *P. yessoensis* は男鹿半島の第四系における本種産出の最上位の記録になるものと思われる。

謝辞：秋田市の石成亮平・石成康平の両氏は貴重な標本を筆者に提供され、さらに秋田県立博物館に寄贈された。厚くお礼申し上げる。また本報告発表の機会を与えられた秋田県立博物館の島山芳郎館長をはじめ、関係各位に深謝申し上げます。

文 献

- 藤岡一男・高安泰助、1965：八郎潟周辺の地質及び地形。八郎潟の研究、2-30。
- HUZIOKA, K., TAKAYASU, T., and MATOBA, Y., 1970：The Kamayach Formation (Pleistocene), Oga Peninsula, Northeast Japan. *Jour. Min. Coll. Akita Univ. Ser. A*, 4 (4), 35-50. 2 pls.
- 潟西層団体研究グループ、1977：潟西層の海生軟体動物化石と堆積環境。地球科学, 31, 83-86。
- , 1983：男鹿半島潟西地域における潟西層。同上, 37, 69-80。
- 大沢 豊・鯨岡 明・粟田泰夫、1985：羽後浜田地域の地質。地域地質研究報告（5万分の1地質図幅）、地質調査所, 57p。
- 渡部 晟、1975：男鹿半島北岸安田付近の潟西層基底に発達する化石層について。秋田地学, (22), 7-10。
- , 1976：男鹿半島北岸安田付近の潟西層から得られた貝化石。秋田自然史研究, (7), 12-13。
- , 1977：若美町福野北方における釜谷地層産貝化石。同上, (9), 4-7。
- , 1982：男鹿半島の第四系産イタヤガイ科化石とその層位的分布。秋田県立博物館研報, (7), 37-50。